

東大農経会 会員各位

昨今は、世界の諸情勢が先行き不透明な状況ではあります、皆様におかれでは、ご清栄のことと存じます。

去る4月5日に、5年振りに第7回東大農経会・総会・懇親会を開始しましたところ、約70名の多くの方々にご参加頂きました。

ご参加頂いた皆様、ご支援頂いた学生の皆様に、心から御礼申し上げます。

当日は、中嶋元教授に特別講演を行って頂きました。

その中で、2024年が農学部創立 150周年の節目に当たること等から、記念事業として「東大農学 150+未来プロジェクト」を実施することとし、広くご寄付をお願いしたいとの要請がありました。

なお、2025年は農業経済学科設置 150周年、2027年は東京大学創立 150周年に当たっております。

このプロジェクトの趣旨に賛同し、寄付をされる方には、寄付金額に応じて、東京大学基金と農学部の特典が適用されます。

要請の概要、振込先は、添付資料をご参照下さい。

ご検討頂ければ幸いです。

今後の東大農経会の活動については、東京大学農学部の農業・資源経済学専攻のホームページを通じた情報発信を行うとともに、メールによる個別のご案内等を行っていきたいと考えております。

差し当たり、10月18日（第3土曜日）には、第24回・東京大学ホームカミングデイが開催される予定です。9月中旬には、東京大学のホームページにプログラムが掲載される見通しですので、皆様お楽しみください。

引き続き、東大農経会の活動に対し、ご支援・ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

2025年6月吉日

東大農経会 会長・佐々木 康雄、役員一同

〈2025.4.5. 中嶋康博元教授・講演資料〉

生きものの力で 社会を変える

東京大学農学部では、従来の農学を超えた、
これからの人類の衣食住や健康を支える
多様な教育研究活動を進めています。



農学の更なる発展を目指し、
「東大農学150+未来プロジェクト」基金を
設置しました。裏面もぜひご覧ください。

プロジェクト設置責任者のメッセージ

東京大学農学部では、農学の更なる発展を目指し、「東大農学150+未来プロジェクト」基金を設置いたしました。未来の農学を支えるためには、皆様のご支援が不可欠です。本基金を通じて、農学関連領域の発展を世界規模で牽引し、持続可能で環境調和型の科学技術の更なる発展のための基盤づくりと、幅広い視野と高い倫理、粘り強い実践力を備えた学生を育てる研究教育環境をさらに強化することを目的としています。皆様よりご支援を賜り、共に未来の農学の道を切り拓いていくたく、何卒ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。



農学生命科学研究科
研究科長
中嶋 康博

東大農学部が抱える課題と挑むべきミッション

東京大学農学部では、最先端の技術や自然科学の研究、人文社会科学の研究を融合させて、私たちの生命・生活・社会を支える総合学問を発展させるための教育研究活動を進めています。近年私たちには、重要なミッションが新たに課せられています。地球全体で100億超に人口が迫る中で、誰しもが健康な食を得られる社会をつくるには、20世紀までの経験に基づいた食料問題への対応では不十分であり、地球規模の環境問題の解決も並行して行う新たな緑の革命が必要です。私たちはすでにいち早くゼロカーボンやOneHealth、Nature Positiveに係わる教育研究に取り組んできました。さらに農学ならではの生命科学と情報科学を発展させて、農学教育研究のGX*1やDX*2を更に進めていくために必要と考えています。

- *1 グリーントランジションフォーメーション
脱炭素社会に向けて再生可能なクリーンエネルギーに
転換していく取り組みのこと
- *2 デジタルトランジションフォーメーション
デジタル技術を活用して、ビジネスや企業の
変化を通じて、社会全体を変革すること

より詳細なご説明や
活動報告などは
こちらをご覧ください



ご寄付で実現したいこと

「東大農学150+未来プロジェクト」は東京大学農学部全体を支えるための基金です。個別の目的に特化した基金も従来から存在していますが、本プロジェクトはそれらの目的を包括し、農学部全体の発展を支えるためのものです。農学部では、創立150年の節目を迎える2024年(令和6年)にあたり、教育・研究の益々の発展を目指し、創立150周年記念事業として右に記載のプロジェクトを進めて参ります。それらのすべてが本学部の未来を明るく照らすための事業であることは言うまでもありませんが、本学部が農学関連領域の発展を世界規模で牽引し、世界の公共性に奉仕する力の源になることを確信しております。

研究科全体の研究および
教育の発展のために

農学知のオープン化

農学資料館の新築、教員カタログの充実、
産学オーブンスペースの設置、産学官公開シ
ンポジウムの充実などを目的とします。

美しく快適なキャンパスライフ

リフレッシュルームの設置、衛生環境の改善
(化粧室・トイレを含む)、省エネ対策(スマートメーターの導入等)を目的とします。

農学知のオープン化

海外インターンシップ制度の充実、地域連携
に貢献できる人材の育成、研究室から飛び出
し社会と対話できる人材の育成などを目的とします。

新たな国際研究拠点の
設置を目指して

サステナブル・マテリアル
国際教育研究棟(農学5号館)
農学ライフサイエンス研究
教育棟(農学2号館)
総合農学イノベーション教育
研究棟(農学3号館)

各分野の高度化や展開を目的とした研究・
教育拠点の形成を目的とします。



サステナブル・マテリアル国際教育研究棟完成イメージ

附属施設の

利活用による社会貢献

海洋生物研究教育拠点形成

「海洋生物」をキーワードとした国際的かつ
卓越した教育・研究の拠点を形成し、持続的
の養殖生産・海洋生態系の理解・海洋生物
資源管理の観点での中核的役割を担うこ
とを目的としています。

その他関連プロジェクトも

農学部150同様に応援お願いいたします。
● 東京大学の森育成資金(演習林)
● 東京大学動物医療センター未来基金
● 牧場ビジョン100

ご寄付のお願い

ご寄付への感謝

当プロジェクトへのご寄付には、
東京大学基金と農学部からの
両方の特典が適用されます。

東京大学基金からの特典

寄付金額に応じた称号の授与
安田講堂への銘板設置 など
より詳しい内容は以下Webページにて
<https://utf.u-tokyo.ac.jp/privilege>

農学部からの特典

本郷地区(弥生キャンパス内)に銘板を掲示
個人で10万円以上、法人で30万円以上の
ご寄付をいただいた方は、弥生キャンパス内に
設置する銘板にてお名前を記して末長く掲示いたします。

ご寄付の方法

当プロジェクトへのご寄付は、
東京大学基金を通じて、
以下の方法でお願いいたします。

払込取扱票をご利用になる方法

本チラシ下部を切り取ってご利用ください。

インターネットをご利用になる方法

東京大学基金の下記Webページからお申込みください。
<https://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt198>



クレジットカード決済や
インターネットバンキング決済、
銀行振込などからお選びいただけます。

お問い合わせ

ご寄付についてのお問い合わせ

東京大学基金事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1
Tel 03-5841-1217(土日祝除く)、Fax 03-5841-1219
E-mail kikin.admin@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

研究内容についてのお問い合わせ

東京大学 農学生命科学研究科・農学部

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
Tel 03-5841-5150(土日祝除く)
E-mail nogaku150kikin.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
Web <https://www.a.u-tokyo.ac.jp>



農学部が開催しているイベントや
研究情報をご覧いただけます

